



平成19年3月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）

平成18年7月11日

上場会社名 小松ウォール工業株式会社

(コード番号: 7949 東証・大証第一部)

(URL <http://www.komatsuwall.co.jp/>)

問合せ先 代表者役職 代表取締役社長
氏名 加納 裕
責任者役職 取締役経理部長
氏名 鈴木 裕文

TEL: (0761) 21-3131

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成19年3月期第1四半期財務・業績の概況（平成18年4月1日～平成18年6月30日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

(百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第1四半期	5,108	(△5.8)	167	(△57.0)	204	(△54.8)	115	(△46.0)
18年3月期第1四半期	5,425	(△1.3)	389	(△28.0)	452	(△17.0)	213	(△31.7)
(参考)18年3月期	25,914		2,219		2,300		1,019	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年3月期第1四半期	10	93	10	90
18年3月期第1四半期	20	21	20	00
(参考)18年3月期	90	40	89	76

(注) 売上高、営業利益、経常利益、四半期(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期の国内経済は、内閣府の6月月例経済報告では「回復している」と表現、基調判断は4ヶ月連続で据え置かれた一方、物価判断は3ヶ月ぶりに上方修正され、息の長い回復が続くものと考えられます。

間仕切業界におきましては、公共投資の減少や鋼板等の原材料価格の高止まり、販売価格競争等、厳しい経営環境が続きましたが、国内企業業績の改善や設備投資の増加を受けて、事務所・オフィス向け、福祉・厚生施設向け、学校向け等に間仕切需要の増加が見受けられました。

このような情勢のなかで、当社グループは積極的なコスト削減と、設計指定活動による受注活動に取り組んでまいりました結果、当四半期受注高は前年同期比20.8%の大幅増となりましたが、納入時期が下半期に集中しているため、売上高では民間需要は前年同期比並みを確保しましたが、公共投資物件が前年同期比減少し、当第1四半期は前年同期比5.8%の減収となりました。

品目別売上高では、主要品目の可動間仕切が民間需要を中心に事務所・オフィス向け、工場・生産施設向けに健闘しましたが、前年同期比2.9%の減少、近年好調な固定間仕切も、軽量ドアを中心に公的な福祉・厚生施設への納入が継続しましたが、1.9%の減少となりました。トイレブースについては13.2%、移動間仕切についても13.2%の減少となりましたが、両品目ともに受注高、受注残高は大きな伸びを示しており、第2四半期から下半期にかけては堅調に推移するものと考えております。

利益面につきましては、第三工場3号棟増築に伴う固定費の増加や原材料の高止まりに加え、売上高が減少したことが影響し、売上総利益率は前年同期比1.9ポイント低下しました。販売費及び一般管理費についても抑制に努めましたが、営業利益率、経常利益率ともに低下しました。これらの結果、当

第1四半期は売上高51億8百万円（前年同期比5.8%減）、営業利益1億67百万円（同57.0%減）、経常利2億4百万円（同54.8%減）、四半期純利益1億15百万円（同46.0%減）となりました。受注残高については、公共物件、民間物件を問わずロー間仕切を除く主要品目全てにおいて増加、前年同期比15.3%増の117億76百万円と二桁の伸びとなっており、下半期については堅調な売上計上を見込んでおります。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

（百万円未満切捨）

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第1四半期	27,640	23,282	84.2	2,201.70
18年3月期第1四半期	27,548	22,926	83.2	2,166.53
(参考)18年3月期	27,733	23,456	84.6	2,213.04

【連結キャッシュ・フローの状況】

（百万円未満切捨）

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第1四半期	1,161	△71	△178	6,442
18年3月期第1四半期	627	△772	△174	5,408
(参考)18年3月期	1,423	△1,075	△545	5,531

【財政成績（連結）の変動状況に関する定性的情報等】

当第1四半期の財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産は93百万円、純資産は1億73百万円それぞれ減少し、自己資本比率は0.3ポイント低下しました。

総資産の減少の主なものは、現金及び預金の増加9億11百万円、受取手形及び売掛金の減少13億22百万円、棚卸資産の増加6億29百万円等による流動資産の増加1億7百万円および固定資産の減少2億円が主なものであります。負債の部では買掛金の減少4億12百万円、未払金の増加5億69百万円、前受金の増加2億36百万円、賞与引当金の減少3億72百万円等の流動負債の増加45百万円および退職給付引当金の増加36百万円等の固定負債の増加35百万円が主なものであります。

キャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、11億61百万円増加しました。これは税金等調整前四半期（当期）純利益2億71百万円、売上債権の減少額13億23百万円、未払金の増加額5億64百万円、前受金の増加額2億36百万円等による増加と仕入債務の減少額4億11百万円、法人税等の支払額1億3百万円、棚卸資産の増加額6億29百万円、役員賞与の支払額65百万円等の減少によるものであります。投資活動によるキャッシュ・フローは、有形、無形の固定資産取得と投資有価証券の取得等により71百万円減少しました。財務活動によるキャッシュ・フローは配当金の支払1億85百万円および自己株式の売却による収入6百万円等により1億78百万円減少しました。これらにより現金及び現金同等物は9億11百万円増加し、当第1四半期末残高は64億42百万円となりました。

(3) 経営成績（個別）の進捗状況

（百万円未満切捨）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
19年3月期第1四半期	5,057 (△3.5)	78 (△72.9)	225 (△49.0)	476 (89.7)
18年3月期第1四半期	5,242 (△0.1)	288 (△38.0)	442 (△19.5)	251 (△29.2)
(参考)18年3月期	25,160	1,745	1,947	847

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
19年3月期第1四半期	45.06	44.93
18年3月期第1四半期	23.73	23.73
(参考)18年3月期	74.88	74.35

(注) 売上高、営業利益、経常利益、四半期（当期）純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。

(4) 財政状態（個別）の変動状況

(百万円未満切捨)

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第1四半期	26,037	21,898	84.1	2,070.80
18年3月期第1四半期	25,549	21,383	83.7	2,020.72
(参考)18年3月期	25,657	21,701	84.6	2,047.76

【参考】

平成19年3月期の連結業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

(百万円未満切捨)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	11,340	460	256
通期	27,200	2,370	1,363

(参考) 1株当たり予想当期純利益（通期） 128円89銭

※ 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

平成19年3月期の個別業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

(百万円未満切捨)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり年間予想配当金		
				中間	期末	
	百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭	円 銭
中間期	11,240	440	590	18.00	—	—
通期	27,000	2,200	1,610	—	18.00	36.00

(参考) 1株当たり予想当期純利益（通期） 152円25銭

※ 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

[業績予想に関する定性的情報等]

今後の国内経済は、企業業績の回復とそれに伴う設備投資はじめ、雇用環境、消費の改善等、景気の回復は継続するものと考えられますが、原油価格の高止まりや国内金利上昇をはじめ米国や中国の動向等、内外経済に与える影響を充分注視していく必要があるものと思われま。間仕切業界におきましても、民間設備投資回復から事務所・オフィス向け需要、工場・生産施設向け需要、福祉・厚生施設関連は引続き堅調に推移すると考えられるものの、販売価格競争等、注視すべき状況が依然として続くと考えられます。

このような状況下において中間期の予想については、増加した受注残の納入時期が下半期が中心であることから期初予想を修正し、売上高113億40百万円、経常利益4億60百万円、中間純利益2億56百万円を予想しております。通期の業績予想につきましては、売上高、利益ともに前年同期比大幅増の受注残高の消化を見込み、当初計画は変更せず、売上高272億円、経常利益23億70百万円、当期純利益13億63百万円を予想しております。

四半期連結貸借対照表

(百万円未満切捨)

期 別 科 目	前 第 1 四 半 期 (平成17年6月30日現在)		当 第 1 四 半 期 (平成18年6月30日現在)		前 連 結 会 計 年 度 (平成18年3月31日現在)	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
(資 産 の 部)	百万円	%	百万円	%	百万円	%
I 流動資産						
1. 現金及び預金	5,408		6,442		5,531	
2. 受取手形及び売掛金	6,910		6,663		7,985	
3. 棚卸資産	3,256		3,164		2,534	
4. その他	402		344		462	
貸倒引当金	△77		△24		△29	
流動資産合計	15,900	57.7	16,591	60.0	16,484	59.4
II 固定資産						
1. 有形固定資産						
(1) 建物及び構築物	5,086		5,152		5,146	
(2) 機械装置及び運搬具	2,182		2,661		2,658	
(3) 土地	3,405		2,919		2,919	
(4) その他	1,256		838		822	
減価償却累計額	△4,748		△5,039		△4,950	
有形固定資産合計	7,182	26.1	6,532	23.6	6,596	23.8
2. 無形固定資産	329	1.2	325	1.2	326	1.2
3. 投資その他の資産						
(1) 投資有価証券	612		709		763	
(2) 保険積立金	3,028		3,052		3,129	
(3) その他	714		505		511	
貸倒引当金	△220		△77		△78	
投資その他の資産合計	4,135	15.0	4,190	15.2	4,325	15.6
固定資産合計	11,647	42.3	11,048	40.0	11,248	40.6
資産合計	27,548	100.0	27,640	100.0	27,733	100.0

(百万円未満切捨)

科目	期 別		前 第 1 四 半 期 (平成17年6月30日現在)		当 第 1 四 半 期 (平成18年6月30日現在)		前 連 結 会 計 年 度 (平成18年3月31日現在)	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
(負 債 の 部)	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
I 流動負債								
1. 買掛金	1,133		1,272		1,684		1,684	
2. 未払金	1,156		1,150		581		581	
3. 未払法人税等	12		23		118		118	
4. 前受金	1,166		651		415		415	
5. 賞与引当金	326		318		690		690	
6. その他	281		285		165		165	
流動負債合計	4,077	14.8	3,701	13.4	3,656	13.2	3,656	13.2
II 固定負債								
1. 退職給付引当金	540		651		615		615	
2. その他	4		3		5		5	
固定負債合計	544	2.0	655	2.4	620	2.2	620	2.2
負債合計	4,621	16.8	4,357	15.8	4,276	15.4	4,276	15.4
(純 資 産 の 部)								
I 株主資本								
1. 資本金	—		3,099	11.2	—		—	
2. 資本剰余金	—		3,030	11.0	—		—	
3. 利益剰余金	—		17,520	63.3	—		—	
4. 自己株式	—		△496	△1.8	—		—	
株主資本合計	—		23,153	83.7	—		—	
II 評価・換算差額等								
1. その他有価証券評価差額金	—		129		—		—	
評価・換算差額等合計	—		129	0.5	—		—	
純資産合計	—		23,282	84.2	—		—	
負債、純資産合計	—		27,640	100.0	—		—	
(資 本 の 部)								
I 資本金	3,099	11.2	—		3,099	11.2	3,099	11.2
II 資本剰余金	3,031	11.0	—		3,031	10.9	3,031	10.9
III 利益剰余金	17,053	61.9	—		17,654	63.7	17,654	63.7
IV その他有価証券評価差額金	79	0.3	—		174	0.6	174	0.6
V 自己株式	△337	△1.2	—		△504	△1.8	△504	△1.8
資本合計	22,926	83.2	—		23,456	84.6	23,456	84.6
負債及び資本合計	27,548	100.0	—		27,733	100.0	27,733	100.0

四半期連結損益計算書

(百万円未満切捨)

期 別 科 目	前 第 1 四 半 期 〔自平成17年4月 1日 至平成17年6月30日〕		当 第 1 四 半 期 〔自平成18年4月 1日 至平成18年6月30日〕		前 連 結 会 計 年 度 〔自平成17年4月 1日 至平成18年3月31日〕	
	金 額	百 分 比	金 額	百 分 比	金 額	百 分 比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
I 売 上 高	5,425	100.0	5,108	100.0	25,914	100.0
II 売 上 原 価	3,573	65.9	3,463	67.8	17,744	68.5
売上総利益	1,852	34.1	1,645	32.2	8,170	31.5
III 販売費及び一般管理費	1,462	27.0	1,477	28.9	5,950	22.9
営業利益	389	7.1	167	3.3	2,219	8.6
IV 営業外収益	65	1.2	41	0.8	100	0.4
1. 受取利息	0		0		0	
2. 受取配当金	3		4		6	
3. 受取保険金	56		31		73	
4. 受取家賃	0		0		2	
5. 受取手数料	1		1		5	
6. その他	3		2		12	
V 営業外費用	2	0.0	4	0.1	19	0.1
1. 投資事業組合出資損失	0		-		2	
2. 売上割引	11		4		10	
3. 持分法による投資損失	-		-		5	
経常利益	452	8.3	204	4.0	2,300	8.9
VI 特別利益	-	0.0	66	1.3	33	0.1
1. 投資有価証券売却益	16		-		0	
2. 貸倒引当金戻入益	-		4		28	
3. ゴルフ会員権売却益	-		-		3	
4. 補助金収入	-		62		-	
VII 特別損失	2	0.0	0	0.0	500	1.9
1. 固定資産売却損	0		-		0	
2. 固定資産除却損	2		0		10	
3. 減損損失	-		-		490	
税金等調整前四半期(当期)純利益	450	8.3	271	5.3	1,833	7.1
法人税、住民税及び事業税	39	0.7	16	0.3	769	3.0
法人税等調整額	197	3.6	138	2.7	44	0.2
四半期(当期)純利益	213	4.0	115	2.3	1,019	3.9

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円未満切捨)

項 目	期 別	前第1四半期	当第1四半期	前連結会計年度
		〔自平成17年4月1日 至平成17年6月30日〕	〔自平成18年4月1日 至平成18年6月30日〕	〔自平成17年4月1日 至平成18年3月31日〕
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前四半期(当期)純利益		450	271	1,833
減価償却費		97	121	491
持分法による投資損失		-	-	5
貸倒引当金の増減額(△:減少)		0	△6	△189
受取利息及び配当金		△3	△4	△6
減損損失		-	-	490
売上債権の増減額(△:増加)		914	1,323	△14
棚卸資産の増減額(△:増加)		△261	△629	460
仕入債務の増減額(△:減少)		△524	△411	26
未払金の増減額(△:減少)		606	564	53
前受金の増減額(△:減少)		337	236	△414
退職給付引当金の増減額(△:減少)		28	36	103
役員賞与の支払額		△74	△65	△74
その他(純額)		△213	△176	△50
小 計		1,358	1,260	2,713
利息及び配当金の受取額		3	4	6
法人税等の支払額		△734	△103	△1,297
営業活動によるキャッシュ・フロー		627	1,161	1,423
II 投資活動によるキャッシュ・フロー				
有形固定資産の取得による支出		△749	△26	△992
有形固定資産の売却による収入		5	-	0
無形固定資産の取得による支出		△13	△25	△89
投資有価証券の取得による支出		△20	△20	△20
投資有価証券の売却による収入		0	-	2
その他(純額)		4	1	22
投資活動によるキャッシュ・フロー		△772	△71	△1,075
III 財務活動によるキャッシュ・フロー				
自己株式の取得による支出		-	△0	△491
自己株式の売却による収入		-	6	303
配当金の支払額		△174	△185	△357
財務活動によるキャッシュ・フロー		△174	△178	△545
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		-	-	-
V 現金及び現金同等物の増減額		△320	911	△197
VI 現金及び現金同等物の期首残高		5,728	5,531	5,728
VII 現金及び現金同等物の期末残高		5,408	6,442	5,531

品目別売上高明細書

(百万円未満切捨)

期別 品目	当 第 1 四 半 期 〔 自平成18年4月 1日 至平成18年6月30日 〕	
	金 額	前年同期比
	百万円	%
可 動 間 仕 切	1, 9 4 0	9 7. 1
固 定 間 仕 切	1, 2 7 4	9 8. 1
移 動 間 仕 切	5 6 8	8 6. 8
ト イ レ ブ ー ス	7 1 4	8 6. 8
ロ ー 間 仕 切	2 6 5	8 2. 4
そ の 他	3 4 4	1 0 4. 8
合 計	5, 1 0 8	9 4. 2

品目別受注高および受注残高

(百万円未満切捨)

期別 品目	当 第 1 四 半 期 〔 自平成18年4月 1日 至平成18年6月30日 〕			
	受 注 高		受 注 残 高	
	金 額	前年同期比	金 額	前年同期比
	百万円	%	百万円	%
可 動 間 仕 切	2, 4 7 1	1 1 2. 8	2, 5 9 0	1 2 5. 9
固 定 間 仕 切	2, 4 7 8	1 5 1. 5	5, 6 0 1	1 1 5. 9
移 動 間 仕 切	8 2 9	1 2 0. 6	1, 6 3 9	1 1 1. 8
ト イ レ ブ ー ス	1, 0 8 4	1 0 9. 8	1, 6 4 9	1 0 8. 6
ロ ー 間 仕 切	2 8 0	8 4. 2	1 0 0	6 7. 3
そ の 他	2 9 6	9 1. 4	1 9 5	1 0 3. 5
合 計	7, 4 4 1	1 2 0. 8	1 1, 7 7 6	1 1 5. 3